九州大学学術情報リポジトリ
Kyushu University Institutional Repository

釧路から筑豊、戦時下「急速転換」係員の日記

石川，孝織
釧路市立博物館

藤原，芳夫
元明治鉱業(株)庶路炭鉱

https://doi.org/10.15017/26287

出版情報：エネルギー史研究 ： 石炭を中心として. 28, pp.167-187, 2013-03-22. 九州大学附属図書館付設記録資料館産業経済資料部門
バージョン：
権利関係：

KYUSHU UNIVERSITY

【資料紹介】釧路から筑豊、戦時下炭鉱「急速転換」係員の日記

石川孝織
藤原芳夫

1．はじめに

［石川］

太平洋戦争末期、制海権の喪失による海上輸送困難を理由として、一九四四（昭和一九）年八月一一日に「樺太及釧路に於ける炭砿勤労者、資材等の急速転換の件」が閣議決定され、樺太及び釧路炭田の炭鉱は休坑・保坑となった（樺太では島内向け石炭を生産する炭鉱については休・保坑とならず）。釧路炭田では炭鉱労働者のおよそ三分の二、六千人が筑豊・三池炭田等に転換された（「急速転換」）。これについては本誌No.27に概要と一四人の証言を収録した。(1)

その調査において、当時の日記が元 明治鉱業庶路炭鉱勤務の藤原芳夫氏より提供された。庶路炭鉱からは五三〇人（うち「半島人」三二〇人）が同社赤池炭鉱へ転換となっている。(2)同氏の証言収録は赤池炭鉱への移動までが中心で、兵役終了後から再度の赤池炭鉱勤務、庶路炭鉱への帰還については未収録であった。(1)この一一・五センチメートル×七センチメートルほどの日記帳には、その期間四五年三月から一〇月までの出来事や思いが記されている。あくまで個人の備忘録的なものであり、また文字も判読しにくいものであったが、二〇一一年から一二年にかけ藤原氏が清書をし、それをさらに石川が翻刻作業を行った。

2．日記著者の略歴（戦中・終戦直後を中心に）

［石川］

藤原芳夫氏　一九二四（大正一三）年三月三十一日釧路市生まれ、旧制釧路中学校を四一年三月卒業、同月一五日、明治鉱業㈱庶路炭鉱に採用となる。中学卒業者は一年間臨時職員であり、四二年に係員として正式採用となった。現場の監督者となるが負傷し、測量室へ配属される。

「急速転換」により四四年九月一日付で明治鉱業赤池炭鉱へ庶路炭鉱からの第一陣として移動したが、到着後間もなくの九月七日に召集令状が自宅に届き、庶路炭鉱からの転換第二陣が到着した翌日の十八日、釧路に向けて出発する。事前の徴兵検査では「第三乙種」とされていた。

二十一日に釧路に帰着。帯広の北部第九一連隊に入隊し、高射砲の操作などの実習を受ける。

四五年一月、帰休除隊となり三月に赤池炭鉱に復帰となる。採炭課に配属されたが、測量班としてメタンガス、湿度、空気量を測定、データの整理に従事した。

終戦後、四五年一〇月に庶路炭鉱へ復帰するが罹病、入院する。五二年、父死去のため復帰し立坑設計にも従事する。しかし五四年、労働争議に嫌気が差し退職。翌五五年から北海道開発庁に勤務、釧路・留萌・小樽・旭川の各土木現業所に勤務した。

3．日記当時の明治鉱業赤池炭鉱（労働者の状況）　［石川］

赤池炭鉱は福岡県田川郡赤池町（現 福智町）に所在し、明治鉱業の発祥の地である明治炭鉱に隣接している。安川敬一郎と平岡浩太郎により一八八九（明治二二）年に開坑し、その後、安川の単独経営を経て一九〇八年より明治鉱業の経営となった。一三（大正二）年に二坑が、一八年に三坑が、三八（昭和一三）年に四坑が開坑している。

太平洋戦争末期においては、他の炭鉱と同様に応召者の増加による熟練鉱員不足、資材不足、これらを原因とする能率低下に悩まされていた。

表1に赤池炭鉱の一九四〇年から四五年にかけての出炭・鉱員数・能率を示すが、四二年から四四年にかけての鉱員数の増加と相反しての能率の低下がある。

表2には四〇年から四三年の赤池炭鉱における属性ごとの労働者数を示す。すでに四三年一一月では、坑内労働者は、内地人が九六九人、「半島人」が一二一五人と、過半数を「半島人」[※]が占めるようになっていた。応召者は四二年七月の数値であるが、坑内外あわせて二九六人、在籍鉱員の一一・八％にもなった。[4]

なお、庶路炭鉱からの転換者が在籍していた四五年三月末現在では、赤池・明治両鉱の合計では五九三四人の鉱員が在籍したが、その内訳は、内地人長期労務者三三九四人、朝鮮人一九六九人、勤労報国隊員および短期労務者五七一人であった。[3]

年度	出炭（トン）	在籍鉱員（人）			能率（トン）（1人1ヶ月）
		坑内	坑外	計	
1940	499,345	2,029	711	2,740	15.2
41	418,557	1,989	700	2,689	12.9
42	437,955	2,161	867	3,028	12.1
43	445,937	2,346	1,133	3,479	10.7
44	349,985	2,506	1,347	3,853	7.6
45	160,850	1,294	811	2,105	6.4

表1　赤池炭鉱の出炭量・在籍鉱員数・能率（40-45年）(3)

	内地人	報国隊	「半島人」※	計
1940	2,182	30	361	2,573
41	1,980	65	592	2,557
42	1,626	133	760	2,519
43	1,644	93	1,301	3,038

表2　赤池炭鉱における労働者の属性(4)
（各年6月末の数値）

※当時の時代背景を示すため、「半島人」という表現はそのままとした。

4. 日記翻刻

凡例

旧字体の漢字は原則として常用漢字に直した（「亦」を除く）。カタカナはひらがなに直していない。また旧仮名遣いのままとしているが、「ツ」のうち促音に相当する箇所は「ッ」に置き換えた。判読できない文字は「●」とした。原文に改行や句読点がほとんどないため、読みやすさを考慮して一文ごとに空白を入れた。

また明らかに後日加筆したと思われる箇所については翻刻をしていない。

三月一日（木）

午前中事ム所ニ顔ヲ出　後藤(※)副長ノ話ニテ来ナクトモ良イ様ニ話オシテオクトノコトデ別レル

＊・「急速転換」前は庶路炭鉱の鉱長であった

三月二日（金） 雨

雨天デ休日、何処ヘモ行カズ寝テ暮ス

三月三日（土） 晴

昨日ハ雨晴レ十時頃迄●モッテ居リシモ雨後好天トナル　本務所ヘ行キ企画今山課長ニ面会シ十時頃ヨリ出勤ス　平山ノ荒木所長サント思ハヌ場所デ面会スル（赤池事務所）　午後ヨリブラブラ出勤　坑内入所ノ為準備

三月四日（日） 晴

公休　午前中就寝　午後菊地サント二人デ金田迄行ク　夜赤池ハ映画見ニ行ク

三月五日（月） 曇

本日ヨリ初出勤　午前中長谷川宗十サント話　午後ハ坑外ブラブラト見学ス　何モ為ス事ナク亦合マリ気分ノ好ク●ナシ

三月六日（火） 晴

四時半警戒警報発令五時十分解除　始メテ入坑　八時入坑赤池三坑各所ガス計ト共ニ見学　三時昇坑　帰リニ佐貫サンノ所ヘ遊ビニ行ク　小村氏国民服盗マレル由　夜入浴ニテ下駄間違ヘラレル

三月七日（水） 曇

午前中坑内　昨日全坑各所ノ為足ガ痛クテドウニモナラヌ　昨夜十一時半亦モヤ警戒警報発令、構ハズ寝テ居ル　午後二時半昇坑　今日モ寒ク雪ガチラチラ降ッテ居ル寒イ寒イ

三月八日（木） 晴

晴天ナレドモ風強シ寒クテヤリキレズ　二日坑内歩イタ為スッカリノビテ今日ハ入坑セズ測量室ニテブラブラシテ居ル　六時半ヨリ事ム所前ニテ大詔奉戴日記念暁天行事アリ　少シ、ノンビリト遅刻シテ出勤ス　午前中坑外ブラブラ寝テ来ル　午後ハ栗城ト餅ヲ買イニ行ク

三月九日（金） 曇

近頃寝汗カイテ朝起キルノニ気分悪シ　菊地サン亦休暇　八時ノ人車ニテ下ル際亦モヤ警戒警報発令サル　二時半昇坑今日モ疲レタ　ビルマ駐在ノ関川氏帰還サレル相ノ話有リ

三月十日（土） 晴

午前中坑内、体ガダルクテ禄ニ廻ル気ニモナレズ時間ギリギリ一パイニ人車坑道ニ出ル　昇坑後報告入浴シテ五時前ニ寒サニ震ヘ乍ラ帰ル　天

候良ケレド風寒シ

三月十一日（日）晴

午前中坑内　本日ハ第一水平ヲ通ッテ第一卸ニ出テ八卸ニ出ル　大体ワカッテ来タ様ダ　後ハ一人別レテ歩イテ見ル　大シタ迷ニモヤズラシイ

三月十二日（月）晴

原●サン欠勤ノ為別ノ人間ト行ク　今日モ亦途中デ別レテ一寝シテ飯ヲ食ル時間ニ七卸ヘ行ク　昇坑後報告入浴シテ早速帰ル　病院ニ行　健康診断ヲ受ケテ来ル　夜菊地サン残業デ一晩居ズ入坑

三月十三日（火）曇

今朝気分ヨク起キル　相不変ラズ寒シ午前八時入坑　八卸右一片払ニテ●ト合ヒ暫ク話ヲシテ居ッテ後本線ヘ出タラ徳永ト合ヒ今日ハ初対面許リデアッタ　旅費精算サレシモ一ナイデガッカリダ　越前氏ヘ書簡出ス

三月十四日（水）曇

昨夜ヨリ隣室ノ学生、相当苦シソウニ唸ッテ居ッタガ今朝亡ナッタソウダ、何モ知ラズ可愛想ナ事ヲシタモノダ　誰ニモ見取ラレズトハ故人モ惜アルマイ　曇天ノ故カ少シ暖イ様ダ　午前中坑内二時昇坑亦何モセズ寝テ来ル　昇坑シテ入浴シテ一休スルト無情ニ腹ガ立ツノガ特ニ感ジラレル　帰ッタラ原中尉殿ガ来テイル　話シテ暫クシテ居ッタラ合宿ヘ顔出シニ来テ居ッタ　七時頃菊地、小村、芦原各氏俺ト四人デ倶楽部行ッテ暫ク遊ンデ来ル　時恰モ十時過ギ小村サン応召ノ電報入リ●●●●奇遇ニ目ヲ見ハル

三月十五日（木）雨後晴

七時半ノ下リ列車ニテ原課長出発見送リニ行ク　時雨降リシ往生　後発電所ヘ行ッテ小村サンノ荷物取ッテ来テ中西サンノ交渉ニ依リ酒都合良クナリ発電所ヘ行ッタリ役場ヘ行ッタリシテ午前中ハ暇ナシ歩イテ居ッタ　四時頃カラ合宿デマッカリ飲ミ五時ヨリ中西サン宅デ合宿　熊部隊長集合後藤副長モ来　●レテ六時半ノ上リニテ出発　ソレ迄ニ切符飯ノ件等デ皆駆ケヅリ廻ッテ急シカッタ　帰リニ映画ヲ見テ来ル　寒クテ途中デ帰ッテ来ル　学生ノ葬式本日挙行昨日ノ二坑ノ罹災者坑葬モ本日五時ヨリ行ハル

三月十六日（金）晴

昨夜十一時半警戒警報発令十二時十五分解除ニナッタ様　午前中入リタクナカッタノデアルガ坑外ニ居ツモ何モナラナイト思ッタノデ仕方ナシ坑内観測ニ入ル　昇坑時御園ノ親父サント思ハヌ所デ会フ　第一水平デ寝ニ入ッテ来ル　出勤シテモナ何モ仕事ナイノデ出ルノガ馬鹿ラシクナッテクル

三月十七日（土）晴

昨夜二時情報警報発令　今日ハ体調思ハシク入坑セズ上生ヘ試錐ヘ行コウト思ヒシニ連絡悪ク行カズ　午後ハ亦相変ブラブラトシテ居ル　野村氏昨夜令状入ッタ様　吉田寛造本朝出発スル　油売リモ仲々骨ガオレルモノダ

三月十八日（日）晴

彼岸ノ入リ日ニ雪ガ降ルトハエンマ様モ寒ガッテ居ル事ダラウ　トタンニ六時空襲警報発令昨夜ヨリ情報警報、警戒警報ト寝耳ニ水ナリ泡食ッテ飯食ハズ事務所ヘ七時ニ朝食ニ来テ七時半解除後ハ俺ハ頭痛ニテ寝テ居ッタ　十二時半亦モヤ空襲警報発令　今度ハ長クダマダカマダカト寝テ居ッタガトウトウ五時過ギ漸ク解除　暫クシテ六時半頃警戒警報解除トナル　敵艦載機カラ数熊本、宮崎、鹿児島アタリヲ盲爆中トノ事ナ

リ機動部隊ノコウドウ激シキモノアリヲ認ム　●艦載機人ノ話ニ依ルト八百機ダッタ　益々深刻苛烈ノ度ヲ増スニ至ッタ様ダ

三月十九日（月）晴　＋3℃

亦モヤ四時頃情報警報発令　五時警戒警報発令毎日ダ　上リ七時過ギノ列車ニテ野村氏出発サレルノデ見送リニ行ク　近頃ノ寒サニハコチラノ方ガ参ッテ仕舞様ダ　八時空襲警報三時迄其ノ後警防団本部ヘ測量室二人援助只喞筒小屋デアタッテ居ッタ　十時半空警解除　暫クシテ警報解除後菊地サント合宿ヘ飯ヲ食ベニ行キ十一時四十分頃明治ヘ向ッテ出発田舎道ヲノンビリ歩イテ居ルモ亦ヨカラズヤ菊地サンノ用事終ッテ六坑マデ佐藤八郎氏ト合ヒ暫ク遊ンデ居ッテ今度ハ中泉ヘ出テ汽車ノ時間悪ク赤池迄歩ク余リ歩キ過ギタノデノビッテシマッタ　夜亦情報警報入ル

三月二十日（火）曇雨

午前中坑内亦途中デ一人デ行ク　人車ガ一時間遅レタ為ニ昇坑シテウロウロシテ居ルトモウ帰ル時間ダ　帰リニ豆炭持ッテ帰リ早速燃ス豆ヲ煮テ食シタガ久シ振リ　宗十ヨリ来月カラガス検査トノ宣告ヲ受ク

三月二十一日（水）曇雨

本日モ亦坑内　毎日毎日ガ当方嫌ニナッテ仕舞フ　正午頃亦モヤ警戒警報入ッタソウ　当方坑内デ何モ知ラズソレ丈ノン気デ●●所モアル

三月二十二日（木）雨

午前中坑内　今日ハ大シタグブトバシテ寝テ来ル　昇坑後型ノ如リ入浴シテ来ル　雨降リデ嫌ナ気分ナノデ定時間ヨリ早ク帰ッテ来ル　試錐有吉氏着当ス

三月二十三日（金）曇

午前中坑内　全ク毎日同ジク所許リ歩クナラ嫌ニナッテシマウ　昇坑後入浴ガヌルクテ五時迄ツカリ辞令モ貰ハズ帰ル　帰ッテ来テ菊地サント酒デ一パイ景気ヲツケル

三月二十四日（土）晴

朝頭痛ニテ出勤シタクナカッタガ仕方ナシ皆丈ヲ●ヘテ出勤ス　午前中坑内　学校ヘ行ッテ居ル金本ト云ウ人ト●●ニ行ク　近頃体ガダルクテ嫌ニナッテ来タ　亦計●室ニ行クモ居ラズ　帰ッテ亦今晩モ酒ニアリツク毎晩デ当リガヨイ　坑内ニテ炊キ出シノ握飯ノ一ケ貰ッテ食ッタガアレデゴマ化サレルカ

三月二十五日（日）晴

久シ振リデ天候ヨク気分ヨイ　亦午前中坑内　今日少シ事情ガ悪ク早々昇坑シ坑外デアタッテ来ル　当所ヘ来テ最初ノ給料日　観測ノ高江現役令状受取リニ行キ今日ノ入隊ダソウ　早速ノ遅延トハ

三月二十六日（月）晴

高江君六時半ノ上リ列車ニテ出発スルヲ見送リ後嫌々乍ラ出勤シ入坑ス十一時四五分デ昇坑シ第一ハ歩イテ昇坑スッカリノビテシマッタ　早速帰ッテ来テ午後ハ寝テ居ッタ

三月二十七日（火）晴

近頃段々暖カクナリツツアル　午前中坑内相不変●●　昇坑後幹線小屋デ二時間許リ遊ビ見学遅クナッテノデ宗十ニゴモリソ云ハレル　夜亦情報警戒、空警トナリ遂ニ赤池上空ニ来ル●●●●●●ノ●ノ中ニ入ルB29遂ニ●墜初ノ●●ニ●●●●●

三月二十八日（水）晴

十二時●服着タ儘ナノデ余リ良ク眠レズ亦モヤ午前中坑内　早ク昇坑スル予定総崩レ遅クナッテ昇坑、坑外ハ暖マリ気分良シ　干渉計持ッテ

行ッタガブツカレデ何モナラズ　昇坑後木原氏ト二人デ分解五時半頃迄亦モヤ情報　床屋ヘ行クモ駄目デガッカリ　栗城君昨夜ヨリ観測

三月二十九日（木）晴

昨夜ハ警報カカラズト思ヒシニ今朝亦八時突如情報ト警報鳴ルト共ニ入坑ス　亦時間ニテ●●シ第二人車ニテ一時間休憩二時半昇坑　早ク帰ッテ床屋ヘ行クモ待ツ間長シ嫌ニナル　立石一明召集令デ今晩出発トノ事ナリ

三月三十日（金）晴

坑内普通ニテ昇坑　皆川直方ヘ飛行機見学　一人ニテ巡廻セリ彼ハノンキナリ　而シ疲ハ人一倍デアリ　夜芦原サント出掛ケルモ失敗ト至リ菊地サント早速帰ル

三月三十一日（土）晴

昨夜モ警戒入リ遅ク寝タノヲ後悔ス　午前中坑内赤池ハ月末ノ間取ニテ休憩ノ度会ッテウマクナシ　一時昇坑シ日向ボッコ　昼頃亦警戒及空襲警報入ッタソウナリ　木原氏ノ才敬服ス

四月一日（日）晴

昨夜ハ亦モヤ寝汗デ気分悪シ朝少シ早ク起キルモ体ダルク出勤嫌ニナル午前中坑内異常ナシ　亦寒暖計破壊ス　昇坑後退屈デ身●キ斗ニ●シム二十年度始メ

四月二日（月）晴

休暇

四月三日（火）晴

出勤スル積リガ●●ニナリ●憩フ　午前中余リ天候ガ良イノデ神社ヘ行ッテ遊ンデ来ル　帰ッテ来タラ栗城ガ来テ居ッテ一緒ニ飯食ッタリ炙餅買ッテ来タリシテ遊ンデオッタ　●ハ●ハヤ桜モ満開ナノデ待チ切レズ一大宴会ヲ開イテシマン　休ダノモ何モアッタモンデナシ

四月四日（水）晴

皆川欠勤ノ為三番方カラノ申継ニ依リ測風ヲ兼ネテヤリ乍ラ巡廻ス　一人ナノデノンキデアッタ　昇坑後結果報告シ採炭主脳部遅カリシ為帰リモ亦遅クナル　ノミ取粉ヲ買ッテ来タノデ今晩ハユックリ寝レルダラウ

四月五日（木）晴

公休日　朝ハユックリシテ居ツテブラリブラリ　赤池町ノ方迄行ッテ来テ十時頃早飯ヲ食ヒ菊地サント二人デ上野ノ滝迄遊ビニ行ク　始メテナノデ疾疲レタガ帰リハ意気洋々ト気分ヨク帰ル　途端ニ高橋旭ガ来タト云フノデ吃驚　彼ノ性ニハ炭鉱ガ向キナノダラウ　夜映画ヲ見ニ行ッタガ三番方ヘ出ナクテハナラナイノデ気計リアセリ見テ居ルガ気ガ気デナカッタ

四月六日（金）晴

晴天ナレドモ今朝モ亦寒シ　三時半昇坑寒クテカナハズ測量室ニハ雑子寝テ居リ　交換●電話デカラカッテ居リ気分悪シ　諸報告ヲ済マシ七時半帰リ　寒クテ震ヘテ帰ル、菊地サン午後ヨリ調子悪ク帰ッテ来　主トモ合ハセテ午後ハ全員顔解シ揃フ

四月七日（土）記入無し

四月八日（日）晴

久シ振リノ晴天

四月九日（月）曇

三番方、観測

四月十日（火）雨

雨天ノ為道路ガ悪ク地下足袋モ悪ク気色悪シ　四時迄就寝天候悪クグッスリ寝ル　夜菊地サン残業ナノデ高橋ト二人デ好キナ豆ヲ焼イテ食フ
亦夜三番方出タガ嫌ニナッテキタ

四月十一日（水）晴

久シ振リ晴天、気分良シ　午前中就寝　午後起キ出シテ室ノ掃除　何カラ何迄気分良ケレド合宿ノ相不変　今晩ハ休ミ明日ヨリ一番方

四月十二日（木）晴

午前中坑内　相棒点呼ノ予定ナノデ一人デ全区域巡廻、嫌にナッテ仕舞フ　夜街ノ映画館ニテ慰安映画アルトノ事遅クナッテカラ見ニ行クガ途中デ二階ガツブレカカッテ途中デ中止

四月十三日（金）晴

午前中坑内　七卸巡廻　停滞ケ所ヲ豪勢ニ探シテ●●代ヲ●フハ　高橋今日ヨリ一番方　夜ハ相不変皆遊ビニ出掛ケタノデ一人ポツンネント寝テ仕舞フ　煙草ノ配給有リ

四月十四日（土）晴

午前中坑内七卸観測　大イニサボリツツアッタガ途中寝過シテ二時人車ニ遅レ泡食ッテ本線ヲ昇坑ス　近頃ハ帰ッテ来テモ退屈カヘツテ三番方ノ方ガ余程良ク様ダ　女中ノ山口婆癖発ガレ合宿ノ●●●大●為発見サル

四月十五日（日）晴

午前中坑内七卸観測　間取ナノデ所々デ課長等ト会イ現場ヲ説明スルノニ都合ガ良カッタ

四月十六日（月）晴

近頃熟睡出来ズ大困リ　午前中坑内七卸観測　頭痛ニテ早ク帰ル積リガグッタリダ　日生入隊ノ電報入ル　昇坑後何モセズブラブラ

四月十七日（火）晴

四月十八日（水）晴

日生七時十六分ニテ出発スル　午前中七卸地区観測　昇坑後頭痛ガシテ整理シテ早ク帰ッテ来テ寝ル　亦夜ハ退屈　雨降リトナル

四月十九日（木）晴

久シ振リデ七時半起床　ユックリ貸切リ食放題ニテ午前中ブラブラ　雨天ノ為何処ヘモ出掛ケラレズ午後ハ天候回復セルモ二時頃飯ヲ食ッタラ何処ヘモ時間ノ関係上行ナレズ
高橋ト二人デノ散歩ガ●ラニ●●●止クキ　夜ハ亦三番デ何モセズツマラヌ日デアッタ

四月二十日（金）晴

三番方三坑七卸観測　今日ハ直方ヘ行ク積リガ寒クテ嫌ニナリ寝テシマヒ不意ニナル　夜ハ菊地サンノ父上来テ切符買ヘズ泊ッテ行ク　晴天ナレドモ風強シ

四月二十一日（土）晴

三番方デ帰ッテヨリ退屈ナノデ本ノ読ミ気ニ向イタノデ直方迄歩イテ行ク　小道ヲ歩イテ行ッタノダガ天候ガ良クテ気分良シ十一時半着　皆川等ト一緒ニナリ映画ヲ見テ買物ヲシテ来タガ帰リニ駅デ待チシモ切符買ヘズ亦歩イテ帰ッタガ六時半スッカリノビテシマッタ　第三坑七卸観測

四月二十二日（日）晴

朝六時所長室ニテ辞令交付　朝飯最中姿一丁コリ　昨日ノ疲レデグッスリ寝ツタ　●ソダガサガサ物音デ眼ヲサマシ菊地サン帰ッテ来テ居ル早速餅ヲ買ッテ来テ食ス　有吉サン合宿ヘ来ル　夜ハ久シ振リデ白米ノ

飯ニ舌鼓ヲ打ツ　七卸観測　三番

四月二十三日（月）晴

高橋欠勤ニテウルサクテ寝ラレズ、彼ノ御陰デドラ焼ウマクナイガタラフク食ス　夜栗城遊ビニ来テ亦餅買ヒ食ッテ許リナリ　三番方三坑観測

四月二十四日（火）晴

午前中就寝　午後金田ニ映画姿三四郎ヲ見ニ行ク　帰リハ我ラモ寝テ居

●ノデノビテシマフ、夜ハ早ク出テ寝テ居ル　合宿ニイテモ面白クナシ

三番方三坑観測

四月二十五日（水）曇

午前中就寝、今日ハ少シ寒カッタ為グッスリ寝ル　三番方七卸瓦斯観測

明朝ハ休ミナノデユックリ寝テ居ッタトコロ後藤サン測量室ニ入ッテ来テ泡食ッテイデ起ル　六時情報発令幾何モナク警戒発令シ遂ニ空襲発令セルモ機影ヲ認

四月二十六日（木）晴

朝三番方ヨリ帰寮来テヨリ洗濯行　栗城君ト二人デ十時頃ヨリ伊田へ遊ニ行ク　行キハ歩キ確ニ遠イ故伊田ヨリ後藤寺何回モ往復　映画見タリ切符買ヘタノデユックリ遊ンデ来ル　帰ッテ来タラ菊地サンノビテ居リ酒ハ当外レカイホウニ心ガ疲レタ

四月二十七日（金）晴

朝亦情報警戒発令　三坑八卸観測　昇坑後干渉計修理シテ帰ルニ丁度好キ時間トナル　給料日　菊地サン体調ガ悪ク早ク帰ッテ来タソウナリ

観測ニ室生氏ト同行ス

四月二十八日（土）晴

晴天　朝曇天ナルモ晴レル　亦朝例ノ如ク情報注意報、警戒警報発令三坑八卸観測

四月二十九日（日）晴

天長節　事務所前ニテ拝賀式有リ　皆川欠勤ノ為一人デ全坑各所観測

課長居ッタノデ報告シ易ク　天長節ナノデ帰ッテヨリ小豆飯ヲタイテ食フタガ久シ振リナノデ下手ナタキ方ナノダガ甘カッタ　異状ナシ

四月三十日（月）晴

三坑八卸観測　夜高橋ト二人デブラブラ遊ビニ出　本物ノ餅ヲ買ッテ来ル

五月一日（火）

三坑八卸観測　弁当七卸ヘ持ッテ行ッタ為ガッカリス　帰ッテ退屈ナノデ封筒作リヲスル　転換部隊ノ若手現役通知有リ　九州ニ入隊スルトハ可愛相　自分ノ身ニ比ベテ尚更ダ

五月二日（水）晴

曇天漸ク晴レ晴天ノナル　三坑観測　四坑ヨリノ浜田氏同行　左五半片払テ怪我人有リ、死亡　高橋立照小荷物送レルト云フノデ一寸教エニ来ル　高橋旭五時亦召集

五月三日（木）晴

六時二四分ノ列車ニテ高橋旭出発　急ナノデ何モセズ出発見送リスルトスル　三坑八卸観測　同類一人行クト気ガ落着カズ

五月四日（金）雨

ヤハリ三人ガ二人テナルト淋シサモノダ　之デ恪味ハフ事二度小村、高橋旭ト三人目ハ誰　一番方三坑八卸地区観測　昇坑後何モスル事ナクブラブラト帰ル　夜ハ体ダルクテ早寝ス

五月五日（土）晴

公休日　一日何モセズ何処ヘ行クトモナク日ヲ暮シテ仕舞フ　洗濯デ●デ石鹸モナクナル　午後栗城ノ所ヘ遊ビニ行ク　夜三番方ニ出ル迄、映画ヲ見ニ行ク　馬鹿ラシイ　公休三番方警備

五月六日（日）晴

三番方ヨリ帰リテ何モセズブラリト寝テ仕舞フ　昨日遊ビモシナイガ疲レテ仕舞ヒ昼寝ノ味モ亦格別成　三番三坑八卸観測　午前中情報、警報、空襲警報発令

五月七日（月）晴

三番方ヨリ帰ッテ後駅ニテ切符買ヒニ行キ郵便局ヘ行キ十一時ニテ直方ヘ遊ビニ行ク　何モ寝テ居ラズ疲レタ　芦原ノ叔母サン、切符無事購入十八時三十分赤池発ニテ出発、見送ル　三番三坑八卸観測　午前中情報、警報、空襲警報発令

五月八日（火）晴後雨

大詔奉載日朝記念式有　昨日疲レテ雨ノ降ルノモ知ラズ疲テニ●ル　土尾ノ利遊ビニ来ル　亦朝帰ッテ洗濯カ　三坑全坑観測　ドイツ全面無条件降伏ス

五月九日（水）晴

満十八才男子予備機ニテ点呼　時局ノ然ラシムル所カ　今日ハ卵ヲ取ル積リガスッカリ当外レガッカリダ　三坑八卸観測

五月十日（木）晴

朝寒シ其ノ中遂ニ六時十五分空襲警報発令トナル　十一時十五分解除大分方面カ　今日ハ収穫アリ卵一ケ　一時頃起キテ山ノ神デ寝テ来テ●●ノ所デ遊ンデ来ル　帰リニ豆ノ御土産ヲ貰ッテ来ル　夜ハ亦箭原ノタコデ腹一パイ　久シ振リナノデ腹一パイニナッタ為カ　三坑八卸観測

五月十一日（金）晴

三坑八卸観測　卵収穫一ケ　赤石ニ取ラレル様デアッタガ先手勝利トナル　夜十時、人車ニ遅レテ十二時デ入坑　労務デ暫ク話シテ来ル

五月十二日（土）晴

六時十三分警戒警報　今日モ取ル算段ガスッカリ当外レ　何回モ起タ丈●　トウトウ抱キ込ンデシマフ　観測休ミ

五月十三日（日）晴

本日ヨリ一番方　朝出勤時亦空襲警報近頃毎日ノ様　半方公休ナノデ昼食後弁当腰ニ下ゲ昇坑　干渉計亦接触悪ク昇坑後分解、五時半迄カカル　干渉計ニハホトホト手ヲヤク　夜空襲警発令亦カカル

五月十四日（月）曇

六時前後亦情報警戒空襲トナル　艦載機来襲直方上空ニテ高射砲爆弾●ル　八卸観測今日ハ一卸大風道一坑本線ヲ昇降ス　本日ノ空襲警報四回ナリ　測量室、防空壕手伝ッテクル　菊地サンノ親父面会ニ来テ居リ

五月十五日（火）雨

今日ハ昨日ヨリ遅ク情報発令　後ハ警戒、空襲共入ラズ　三坑八卸観測間取ノ為詰所デ●河生氏アリ大●ツカレル　入●●天候悪イノデ早々ニ帰リ栗城ノ所ヘ依リ薬局ヘ血液型調ベルO型ナリ　前ニAB型トハ異ナル枝豆ヲ煮テ食フ久シ振リナリ

五月十六日（水）晴

朝雨降リシモ後天候良クナリ久シ振リデ陽ノ光ヲ●ブ　三坑八卸観測三時ヨリ防空壕ノ材料運ビ余リ手伝ハズ

五月十七日（木）晴

午前中三坑八卸観測　二時昇坑、本日モ防空壕作リヲ手伝ッテ帰ル

五月十八日（金）曇

午前中、三坑八卸観測　悠々トサボル方宜シキヲヤル　二時昇坑、後防空壕作リノ●●壁崩落何　何トカデ甘ク進捗セズ　藤生ト二人デ赤池ヘ映画ヲ見ニ行ク途中制限停電ニ遭ヒツマラナク帰ッテ来ル

五月十九日（土）雨

公休日、午前中就寝　時計故障デ時間分ラズ菊地氏田川行キデ俺一人ユックリト寝テ居リシモ退屈ナリ　午後三時頃ヨリ宮場氏ト二人デ時計屋ヘ行キ修繕ニ行ク　三番三坑八卸観測

五月二十日（日）曇

報告後課長ヘ地下足袋ノ交渉セズモ相手ニサレズ何モカモオジャンニ腹糞悪シ　ソロソロ蒸シ暑クナリ寝ラレナクナッテ来タ様ダ　五時頃就寝利遊ビニ来ル　休デ居ルラシイ　三番三坑八卸観測

五月二十一日（月）曇

十二時迄情報発令警戒警報ト発令サレ三時二七分全部解除ニナッタラシイ　朝食役久シ振リデ掃除シテ就寝　五時起床　雨降リ寒ク亦出勤スル迄寝テ居レリ　三番三坑八卸観測

五月二十二日（火）雨

帰ッテ後亦袴下ノ修繕ヲナス途中家カラ小包来シモ糠喜ビ　天候悪シキ為好ク寝レル　煙草ノ配給ナルモ小生配給ナラズ　●ガクサル　全クソウダ　三番三坑八卸観測　二時昇坑セバ空襲警戒中ナリ　相当●ッタラシイ　煙草ニ火ヲ付ケル積リデ課長居リ失敗ノ●ナリ

五月二十三日（水）晴

亦朝帰ッテ袴下修繕ヲスル　小包モ期待外レデガッカリダ　腹●ハ悪ク眠リシモタマニ天候良クナリシ為熟睡出来ズ　二時頃起キテ遊ビニ行キ五時迄ブラブラ寝タリ起キタリ夜ハ宮場ノ衆デタラフク豆ヲ食ッテ来ル三番三坑八卸観測

五月二十四日（木）晴

五時四十分警戒警報発令　帰ッテ来テ土屋ノ所ヘ遊ビニ行ク　昼迄居リ昼カラ寝ルガサッパリ寝ラレズガッカリスル　今日ハ豆ヲ腹一パイ食フ夜亦煮テ食ッタガヨク腹ニ入ルモノダ　三番三坑八卸観測

五月二十五日（金）晴

昨日ロクニ寝テ居ラナカッタ為ニグッスリ寝ル　給料日　夜皆川入坑シナイノガ警報ノタメ露●●三時頃入リコンプレッサーデ寝テ来テ昇坑ハ六時デアッタ　久シ振リデ●●天候●座●ニハタマラズ夜ブラブラ映画見ニ行ク　三番三坑八卸観測

五月二十六日（土）曇

小包二ケ差出ス、為替¥20円一ケ　後床屋デ●●　配給所ニテ煙草ノ支拂ヒ　午後ハ昼寝デ●ス　六時半ヨリ寮食堂ニテ常会　米ノ予ニ付キ協議●●　一週間振リニテ夜ノ布団懐シキ

五月二十七日（日）晴

海軍記念日　昨夜ハ昼寝テ居ラヌタメ空襲敵機来襲ニモ構ハズ寝テ居ル午前中坑内三坑七卸観測　郵便局ニテ書簡出シ　ブラブラシテ帰ッテ来テズボンノ修繕後ブラブラ市●へ出テ●●買物ニ行ッテクル

五月二十八日（月）晴

一番七卸観測　天気モ良クナッタノデ菊地サント二人デ裏ノ方カラ散歩シテ来ル

五月二十九日（火）晴

一番七卸観測　帰ッテヨリ退屈ノ所利ガ来テ遊ンデ行ク

五月三十日（水）晴

一番七卸観測　左採炭吉村氏ノ●●●●発覚スル所危カツタ　段々暑クナリ弱ッテ来ル　弁当トンデモナイ方向ニ●●昼食ハ四時頃ナリ　吉田君ヨリ書簡有リ

五月三十一日（木）晴

一番三坑七卸観測　ランプガトンデモナクナリノ腹糞悪シ　オ陰で早ク昇坑セル積リガ当外レル　今日カラ五月モ終リ早イモノ成夜ハ疲レテコロガッタキリナリ

六月一日（金）曇

朝雨降リナルモ後曇天トナル　三坑七卸観測　坑内ニテ干渉計内蓋落ス今日ハ仏滅ナリ　今月ハ余リ良イ事ナイカモ知レス　●川遊ビニ来ル、マッカリ一丁甘イコト　高橋ヨリ来信

六月二日（土）晴

三坑七卸観測　栗城ノ所ヨリ本借リテ来ル　野原ヨリ来信有リ

夜菊地サンノ親父サン来テ一泊ス　久シ振リデ豆タラフク食フ

六月三日（日）晴

菊地サンノ親父サン朝帰ル　三坑七卸観測　帰ッテヨリ茶川の所へ遊ビニ行ク　腹一パイ食ベタリ飲ンデ来タノデ苦シカッタ

六月四日（月）曇

三坑七卸観測　早ク帰ッテモ退屈ナリ　夜久々振リデ映画ヲ見ニ行ク

六月五日（火）晴

公休日　ユックリ寝タイガ腹立ツ事●●●ナツブンナリ　午前中作業衣ノ修理　午後亦利ノ所へ遊ビニ行ク　夜利亦来テヘボ将棋ヲシテ行ッタ成三番三坑今日ヨリ八卸　佐貫氏ト一緒ニ行キ共ニス

六月六日（水）晴

三番ヨリ帰リテ利ト二人デ買出シニ出掛ケルモ収穫零ナリ　ガッカリ腹糞悪ク午前中ニ帰ッテ来ル　途端ニタ立デ急リビショ濡レトナル所ナリ午後ハ雷モノスゴク鳴リ眠リサマス事幾度ゾ　三坑八卸観測　早出、呼出シトナル

六月七日（木）雨

今日ハ行ク積リナルモ天候悪シキ為中止　五時頃電話ニテ三坑ノ自然発火トノ事　早出ニテ付キ切リ居ル　課長、河野氏モ連勤ス　右七片下五六払始ナリ（八卸）　十時頃ヨリノ発見ナリ府●動ス直グニ入坑

一酸化炭素検知器最初メテ使用ス

六月八日（金）曇

昨日ヨリ付キ切リテ八時半昇坑ス　スッカリノビテ仕舞ッタ　大詔奉戴日

六月九日（土）雨

三番早出八卸七片　自然発火個所警備ナリ

六月十日（日）晴

昨日利ト話ヲシテ亦出掛ケル　約束デアリシモ奴来ズガッカリ　ゴロ寝デスッカリノビテシマフ　三番早出朝夕方時計取リニ行クモ●早ナリ

六月十一日（月）晴

三番早出八卸右七片　五尺払自然発火個所警備　一水モ出ズカケズリ廻リ往生ス　五時半昇坑　時計貰ッテ来シモスグ亦硝子落シ往生ス

六月十二日（火）雨

蒸暑ク午後ヨリ遂ニ雨トナル　土砂降リノ中出テ行クノハ余リ好マシク

ナイ様ダ　三番早出右七片警備　本日ヨリ撒水用ホース使用可能トノ事張リ切ッテ入坑

六月十三日（水）雨

今日モ亦雨大嫌ニナッテ来ル　少シ早メニ出勤、菊地サンノ父上亦同事ニテ来ル　出勤時傘ナク雨濡レ春●ヤ　八卸変災ケ所警備

六月十四日（木）晴

朝三番ヨリ帰ッテ来テヨリ栗城ト二人デ豆ノ収穫ニ出掛ケル　仲々前回ト同様甘ク行カズ朝●ヨリ上野方面迄散歩ガテラ帰リニ上野畑モ駄目帰リニ社宅ノオカミサン連中ニ同情サレ漸ク一回分セシム　スッカリノビテシマッタ　帰ッテ来テ早速煮テ食フ　芦原サン夕方列車デ北海道へ出発ス　三番八卸災害ケ所警備

六月十五日（金）晴

亦シモ変災ケ所情況悪イタメ河生サン　課長入坑ス　十二時ニテ昇坑前回ノケ所ヨリ下部　毎度デクタビレル　今朝ハ公休積リデナク朝亦●●ニ出テ●ノ積リガ連絡不充分ノ為九時半昇坑　胸糞悪クテ仕様ガナシオ蔭デ今日ハユックリ休メタ様ナモノ気落着カズ

六月十六日（土）雨

本日ヨリ一番方　ヤハリ一番ハ余リ良クナイ様ダ八卸変災ケ所警備、異状ナシ　情況モ大分良クナリツツアリ　近頃菊地サン切符買ヘド●●シテ●●●最中ナリ

六月十七日（日）晴

昨夜遅ク迄起キテ居ッタノデ今朝ハ急イデ飛ンデ行ク目ニ合フ　今日八卸変災ケ所警備　夜亦利ガ遊ビニ来テ居ル　夜中例ノ如ク亦警報入ル

六月十八日（月）晴

昨夜ノ空襲ニ依リ朝飯遅クナリ　亦ガッカリ好ク禄ナ事ナイモノダ　七時半入坑　変災ケ所警備　亦真黒クナル嫌ナ事ダ　五時昇坑、毎日毎日デ体ガスッカリノビテシマフ様ダ

六月十九日（火）晴

本日ニテ発火ケ所警備終了　スッカリ重荷ガオリタ感ジナリ　夜赤池ヘ芝居ヲ見ニ行ククダラナイ　夜中警報連続ニテ福岡市内ガ空襲ニ会フ相当ノ被害ト遠クカラ見ラレル

六月二十日（水）晴

今日ヨリ久シ振リデ一番方ノノンビリトシタ気分ヲ味フ　七卸デゴロリ遊ンデ来ル

六月二十一日（木）晴

六●ヨリ俺ハ休ミ亦三番ナノデ一日中ブラリ寝テ居ル　午後利亦遊ビニ来ル　夜ハ亦例ノ如ク警報ノ連続　空襲アリシモ投弾ナシ　午後六時ヨリ信和会館ニテ賞与●●

六月二十二日（金）晴

昨夜ハスッカリ疲レテ仕舞ッタノデ今回ハ午前グッスリ。菊地サン切符手ニ入リ九時頃ヨリ用意セルニモ不抱一ツモ知ラズ　三時ノ列車ニテ出発　利ト送リニ行ク　朝課長ヨリ書付貰ッタガ案ノ上少イコト天下一品●●早ク出勤シ賞与貰ッテ来ル

六月二十三日（土）曇

学生近々帰ルノデソノ仕度デ昼寝テ居テモウルサクテ不●、禄ニ寝テ居ラレズ　夜一人デ退屈ナノデ宮場所へ遊ビニ行ク　出勤シタ所、坑内ニテ酒飲マシテ居ッタノデ測量室デモ皆イイ機嫌ナリ　青山氏ガ持ッテ来タソウ●●●●リシ酒ナリ　今日モ情報鳴リ続ケナリ

六月二十四日（日）曇

朝帰ッテ来テ一ツ服洗濯ヲシ　昨夜ノオ陰デ昼迄マタ寝レズ　午後ハ利遊ビニ来テ夕方迄遊ンデ居ッタ　煙草全部作リ終ハル　三番三坑八卸観測　気候モ良クナルト同時ニ●●●ノ発展相当ナモノラシイ

六月二十五日（月）晴

朝帰リニ会計ヲ栗城ニ頼ンデ●ク　三番三坑八卸観測

六月二十六日（火）晴

三番ヨリ帰リ●昼迄寝テ居ル所ニ利ニ起サレ上野ノ方迄箭原ト三人デ梅ヲ買ヒニ行ク　スッカリノビテシマフ　収穫ハ一升位ナリ亦今週モ三番方ナリ　午前中●ト菊地サンノ所ニ通為替ヲ送リニ行ク

六月二十七日（水）晴

利ト朝石鹸ヲ買イニ行ク　朝早キ為駄目、甘シマッカリニ有リ付キ二人デアチラコチラフラフラデ昼迄四升飲ンデシマフ

六月二十八日（木）

梅雨ノ湿リデ蒸シ暑ク　昼迄寝レズガッカリダ　午後カラ少シ冷シクナリ一寸寝ル

六月二十九日（金）曇

利煙管修繕●●●午後迄二人デ寝テ居ル　今日モ午前中寝レズ　三番七卸観測

六月三十日（土）雨

雨モ加減アキテシマフ　部屋ガ湿ッテ陰気臭シ　九時頃迄　原生君ノ所デ遊ンデ来ル　時計亦モヤエンコシテシマフ　三番三坑七卸観測

七月一日（日）晴

早イモノモカナ　四ヶ月モ過グ　本日ハ天候悪ク夜ハ眠レル　午後ハ寝レズ利ノ所デ遊ンデ来ル、夜利来テ後藤サンノ所ヘ行クト云ウ話ナリ三番三坑七卸観測

七月二日（月）晴

七月ニ入ッタ途端天候モガラリト変リ本日ハ好天気ナリ　而モ天候モ昼寝ハ禁物ナリ　昼ハ腹空ッテ寝ムレズ　三番方　三坑七卸観測

七月三日（火）晴

午前中天候悪クモ午後ハ好天気　四時迄グッスリ　始メテ地下足袋ノ証明書一足分●●●　退屈ナルモ朝●●●●●●来ル●●修繕●●●●三番三坑七卸観測　四時半●●●●朝ニナル

七月四日（水）晴

今日モ亦暑ク寝ラレズ昼間ノ空襲ニ依リ目ヲ覚ム　日中堂々タルモノナリ　午後利ノ所ヘ遊ビニ行ク　夜勝又ピッケル豆ヲ持ッテ来テ呉レルチョンゴシ　三番観測ロクニ廻ラズ　グッスリ寝テ来ル　今夜ハ警報●ラシクカカラナカツタミタイ

七月五日（木）晴

公休日　栄タシ五時頃ヨリ畑耕シニ来ル熱心ナモノダ　公休日ナノデ早ク帰ッテ来ル　午前中就寝　亦モ十向中ノ警報鳴リ渡ル　今晩ハ警報ナシ

七月六日（金）雨

昨夜ハ三番警備ロクニ寝レズ　八卸別ニ異状無キ故皆川君サボッテ遊ビニ来ル　昨日イッテ居キシ豆平ゲル　夜ハ亦ブラブラ退屈ナノデ早ク出テ行ク　今晩モ警報ナシ　三晩続ケテ鳴ラナカッタトハ珍ラシイ

七月七日（土）晴

午前中曇天ナルモ午後ヨリ余リ良クハナイガ晴レ渡ル　今日ハ皆川、香

月君二人同行　利許可取タソウデ帰省　願書キニ来タノデ今日ハロクニ寝レズ　疲労甚ダシ　三番三坑八卸観測　洋服ノ修繕教ヘニ行ク

七月八日（日）晴

大詔奉載日　久シ振リデ記念式典ニ参列　二三日ノ疲レ一辺ニ出テ今日ハ午後六時頃迄寝テ居ル　三番三坑八卸観測　二番八卸右七片変災為

半島人崩落圧死

七月九日（月）晴

例ノ如ク暑シ　昨晩グッスリ寝タ為、今日ハ寝レズ　一日ブラブラシテ居リシ　午後ズボン修理取リニ行ク　利亦昨夜休ミ遊ビニ来ル　三番三坑八卸観測

七月十日（火）晴

三番ヨリ帰ッテ後　朝ハ曇天ナルモ天候快複ナリツツアルノデ明治ヘ遊ビニ行ク　ズボン修理ニ行クモ布地ナクテ甘クナシ、沢之井氏ノ所ヘ石鹸ヲ持ッテ行ッタガ明治ノ合宿ハ綺麗ダ　二時頃昼食ヲ食ベテ帰ッテ来タガ、途中雨ニ合ヒスッカリズブ濡レ、胸糞悪シ　三番ニ出ル途中有吉氏ト偶然会ス

七月十一日（水）雨

今日モ亦雨降リ　朝ハヨカッタガ夕方迄腹ヘッテ持タズガッカリト●ナリ　雨ノ用意デノチョイチョイ起サレ寝ル間ナシ　疲レ甚シ　雨ハドシャ降リ　其レニモ恂ズ警報トハ用意周到ナリ　三番三坑八卸観測

七月十二日（木）雨

今日モ亦雨降リ　六月分特配米各自処分ト一決早速朝ノ中ニ買ヒニ行ク途端ニ朝食ハ少シ飯ヲタイテ食ベタガ腹一パイデ今日ハ禄ニ寝レズ岡本早朝上リ怪我シタトノ事　三番三坑八卸観測

七月十三日（金）晴

亦モヤ昨夜情況悪クナリシテ八卸五尺払情況悪クナッタト思ッタ途端夕方電話ガアリ早出ノ警備トナル　三回目余程精進悪イト見エテ疲レ通シダ

七月十四日（土）記入無し

七月十五日（日）晴

北海道、東北ノ空襲ヲ聞ク愈々危クナッテ来タ様ダ　三番ヨリ帰リテ寝ル前飯ヲタイテ食フ　午後原生等一●酒ヲ持ッテ来室　香月警備ブツトバシテ飲ム、見ツカラネバ良イガ

七月十六日（月）

一番警備ニテ五時入坑トナルモ飯ノ関係上五時半頃入坑　情況ハ余リ良クナラズ　前回ヨリ一寸大キイソ序デニ当方モ●ラレルカ

七月十七日（火）～二十四日（火）記入無し

七月二十五日（水）晴

六時入坑、自然発火警備　今日ハ木田代休俺一人　情況モ良イノデ一日中寝テ居ッタ三時半昇坑　給料日、夜早速明日予定ノ酒交渉ニ行クグッタリ疲レテ仕舞フ

七月二十六日（木）晴

二番デ久シ振リニ八時頃迄寝テ居ル、朝食後ズボンノ修理ス　正午平川ノ所ヘ酒ヲ取リニ行キ亦一寝リ　今日ノ三時半入坑ブットバス　三時頃ヨリ自然発火ヶ所ノ寝直シ飲ミ濁ス　夜ハ亦映画見ニ行ク　十時デ●●●モ疲レテオマケニ酔ッテ居ルノデドウニモナラズ警備モ今晩デ終了ス

七月二十七日（金）晴

昇坑後木原サント相談ノ結果自然発火ヶ所警備ヲ本日デ終了　落着イタ

気持　三番モ久シ振リデ七卸楽ナ事オビタダシ　寝テ居タラ酒ノ証明持ッテ来テ呉レル　夜町ヘ舞踊ヲ見ニ行ク

七月二十八日（土）晴

今日ハ一日空警中ナリ　今カ今カト待ッテ居ル　早クモ正午午後ニナッテ勇躍配給所ヘ酒買ヒニ走ル夕方ウツラウツラセル中、原生皆川来テ居リシ　三番三坑七卸観測

七月二十九日（日）晴

午前中体疲レテモ熟睡出来ズ腰ノ辺痛クテヤレキレナイ　午後、芦原氏帰ッテ来タト顔出シニ来ル　先日ノ道爆●相当ヒドカッタラシイ　三番三坑七卸観測　空襲警報二回夜間三回　夕方一寸夕立トナル

七月三十日（月）記入無し

七月三十一日（火）晴

三番ヨリ帰リサボリ同志遊ビニ来テ居リ昼前木田が来テ原生召集ヲ知ラセ　今晩飲ム約束途端ニ送別会トナル　午後ハ例ノ用意デ●ベシ、夜ハ六時頃ヨリマッカリ飲ンデサワイデオマケニ高崎ノ部屋ニ来テ居ル禿頭ヲ冷カシスッタリ●●リ禄ナ奴ハ居ナイモノダ

八月一日（水）晴

原生一番ニテ出発姿●●●●ノニ急シカッタ　送ッテスグ帰ル　部屋ノ中掃除スルノニ一骨折レル　散ラス丈散ラカシテ後ハ知ラヌガ仏恐入ルノハ室主丈カ　久シ振リデグッスリ寝ル　三番三坑七卸観測　台風ノ徴候アリト報道アリトノ事ナリ

八月二日（木）晴

三番ヨリ帰リ箭原部屋ヘ遊ビニ行キ午前中梨ヲ買ヒニ行キ、芦原氏ノ●●所デセシメル　帰ッテ来テカラモ禄ニ寝レズ　夕方亦高崎ニ先日ノ事デ文句ヲ云ハレ腹糞悪シ　三番三坑七卸観測　夕方本当ニ台風ニ●タリ●メリカ

八月三日（金）記入無し

八月四日（土）晴

自然発火ノ情況報告書整理ノ為早出ス　入坑直後工藤氏ヨリ梨ヲ貰ッテ食ベタガ甘カッタ亦大キイニハ恐レ入ッタ　坑内ニテ寝過ギデ遅ク昇坑ス

八月五日（日）晴

公休日、三番ヨリ帰リテ午前中就寝　午後梨買ヒニ行ク　一丁ウマクヤッデ居ルカラ具合良シ　平川ノ所ヘ薬缶●●行ク　暑クテ日中ハ●テ歩クコトナシ

八月六日（月）晴

今日ヨリ久シ振リ一番方　朝寝タクニ仕様ガナシ　●ハ先回ヲシ自然発火・報告書作製残業ス　残業シテ帰ッテ亦蚊ニ食ハレドウモナラズ

八月七日（火）晴

今晩モ亦残業　自然発火案外情況モ良クナシ

八月八日（水）晴

大詔奉載日　記念式有リ　未明ノ空襲先手ヲ打タレタ感ジナリ　今晩モ亦残業出テ遊ンデ来ル

八月九日（木）・十日（金）記入無し

八月十一日（土）晴

一番三坑八卸観測　体ダルクテドウニモナラズ　オマケニ胸糞悪ク合宿ヘ帰ッテモ面白クナシ　夜勝又遊ビニ来ル

八月十二日（日）晴

今朝亦婆カラ●●●ヲ云ハレ思ヒ出ス文●胸糞悪シ　三坑八卸観測　竹ヤント一緒デアッタガ案外面●ラ●リ　昇坑後何モナク退屈ナリ

八月十三日（月）晴

相不変夜ハ蚊ニ食ハレ通シデ寝レズオマケニ朝飯ハ●ノ●●顔ナノデ胸糞悪シ　三坑八卸観測

八月十四日（火）晴

明日直方ヲB29ノ空襲スルトノ電単バラマカレタソウダ

八月十五日（水）晴

公休日　事態原子爆弾ノ威力ト共ニ急転換ガ遂ニ正午大東亜戦争終結ノ大詔下布サル一億胞悲憤ノ涙ニムセブ　悠久三千年ノ歴史モ終ルト思ムバ一人一人努力ノ至ナカッタモノト深ク頭ヲ下ゲ　日本国民ヤル方ナク作業モ手ニツカズ

八月十六日（木）～十八日（土）記入無し

八月十九日（日）晴

転換指令ヲ受ケテ依リ福●一手利妹ト共ニ漸ク念願ヲ達シ八時半ヨリ出●孝我ニテ●度釧長ヨリノ通達ニ依リ帰道ヲ確定　結果ハ芳シカラズ出来ル丈遊ンデ月カラ　三番七卸観測　臨時休業

八月二十日（月）晴

今日ヨリ三番方　途端ニ一寸梨ヲ失敬ニ行ク　モウ帰ノ道ヲ命令サレテ依リ仕事スルノガ亦赤池ニテスルノガツクヅク嫌ニナッテ来タ

八月二十一日（火）～二十三日（木）記入無し

八月二十四日（金）晴

三番ニテ七卸五目抜連卸側又モヤ臭気発散頗ル嫌ニナッテ仕舞フ　原野ニ報告セルモ奴ノ面見ルト胸糞悪シ　夜久シ振リデ続姿三四郎ヲ見ニ行ク

八月二十五日（土）晴

相不変日中ハ暑クテ一寝レズ　今晩一晩丈ト思ヒ、思ヒ切ッテ出テ入坑セルモ人車ノデタタメニハ胸糞悪シ　第一人車ハ歩イテ昇坑ス　給料日

八月二十六日（日）晴

三番ヨリ帰ッテ一日ゴロゴロシテ居ル　週休デアルガ気分ト二週間三番許リノ為　根モツキ涯タ念有リ

八月二十七日（月）雨

今日ノ予定ノ通リ休ム　休ンデ居ッテモ仕方ナイガ出ル気ニハナレズ一日寝テ居ッタ　寝テハ食ヒ食ヒデ腹具合悪シ　早ク帰還ノ日時定マルノヲ楽シムノミ

八月二十八日（火）晴

今日モ面白クナイノデ欠勤亦一日中合宿ニテ遊ンデ暮ス　午後B29頭上ヲ●ス　ユーユ飛行亦高度低ク飛ブハ敗戦国ノミジメサ　傍観スルノミ致シ方ナイ　尚尾翼ノVニハ亦噴激ヲ覚ユ

八月二十九日（水）曇

今日ヨリ三日振リデ出勤

嫌デ仕方無イ　早クケリヲ付ケテ呉レレバ良イト思ウノミ

八月三十日（木）雨

嫌々乍ラ出勤　終了シ帰ッタラ丁度高橋ガ亦帰ッテ来テ居リ相不変駄ボラ大将カ　夕方副長ノ所ヘ行キ後アッチコッチ歩イテマッカリ飲ンデ歩イタガ例ニ依リ運良ク●有リ一寸シャレ込ム

八月三十一日（金）雨

昇坑後測量室ヘ西原氏本社ヘ来タ序デニ寄ッテ行ク海軍少尉死場所ヲ

失ッタト大弱リ　夜亦副長ノ所ヘ行ク　大イニ御馳走ニナリ感激シ思フコトナク聴取ス　談大イニ感ズル所有リ

九月一日（土）雨

朝ハ寝タクテヤリ切レズ　西原氏入坑ヲ遠慮ス　昇坑後例ノ如クニ付キ入浴直サマ帰ル　夜芦原氏遊ビニ来ル　早速梨畑●リヲ付フ　夜ハ四人デ食ッタ食ッタ腹一パイ也

九月二日（日）雨

昨夜遅ク寝タ為朝ハ寝タイ　西原氏帰ル積リガ時間遅レ逃ニ正午ニテ帰ル　ドチラガ早ク着クカク楽シミ也　一日中ゴロゴロ寝テ居ル　三番観測

九月三日（月）雨

昨夜高橋買●ツケテ来タ南瓜ニテ一日食ヒ通シ　オ蔭デサッパリ寝レズガッカリ　途端ニ夜ハ代用食遅イオ蔭デ飯ニアリツケズ　実ニ近頃、九州ニ居ルノガ嫌ニ堪ラズ　三番観測　大雨也　暴風雨ノ情況ナリ

九月四日（火）晴

朝帰ッテ来テ●ヲタカフト思フテ板ヲ足ニテ割ッタ所、途端ニ釘ガ足ニササリタ方ニナリ漸クハレ歩行困難ノ為欠勤ス　而モ食ヒ過ギデ足ハ痛シ腹ハ痛シデ　下迄下リテ行クノモ大イニ不便デアッタ

九月五日（水）晴

今日モ昨日ノ続行欠勤ナリ　午後マッカリデ一パイヤッテ居ル所ニ電報、何カト開ケハ弟殉職ノ報　只漠然ト何タルカヲ知ラズ惜ク計リ知ラズ　出来ルナラ今回ヲ機会ニ帰ロウト思ヒシニ後藤副長ノ許可無ク　桐生迄行クコト二決定　各所ニ交渉ス

九月六日（木）晴

朝事務所ヘ行キ切符交渉遅クナレバ●●積リデ寝テ居リシモ十時頃成功セリトノ電話早速十二時ニテ出発積リナルモ三時迄引延シ食糧ノ用意等スル　三時半ニテ出発直方ニテ一時間待チ折尾ニテハ連絡甘ク行クモ門司ニテ四時間待チ兵隊ノ復員等デ漸ク大阪行キニ乗車ス

九月七日（金）晴

途中漸ク腰カケル事ヲ得ルモ亦々困難ニテ往生シツツモ午後大阪着　マゴマゴシテ居ル中ニ午後五時東京行キニ間ニ合ハズ七時ニテ漸ク乗車亦々途中ヨリ坐レルモ大イニ困難ナリ　途中昼間ノ大中都市ノ灰塵ノ模様亦甚大ナリテ痛切ニ感ズ

九月八日（土）晴

東京へ着ト共ニ東京駅ノ残骸驚キ上野迄ヨリ東北本線ニテ小山迄行キ十二時ノ臨時列車ニテ桐生着　直チニ新井病院へ行ク　親父早速出テ来テ大イニ泣カレ我モ亦人知レズ涙コボル　遺骨ハト見レバ何虚ヘモナシ家ヘノ電報延着ノ為五日ニ戦友ト共ニ帰リシトノ事也ガッカリヤル瀬ナシ　仕方ナク夜行ニテ

九月九日（日）晴

小山迄出デ自分ハ一泊親父ト相談ノ結果別ル　六時半ニテ上野行キ乗車早速東京駅迄出テ十二時五分発其ノ列車乗車セントセシモ超満員ノ為米原行キニ乗車小田原ヨリ席有リ　午前一時米原着亦貨物臨時ニテ京都迄出テ朝迄一休ミス

九月十日（月）晴

空腹ナノデアッチコッチ歩イテ居ル中　飯炊キマス　ヲ見ツケ先ヅ空腹ヲ満シ荷物ヲ預ケテ再度ブラブラ●　三十三間堂ヨリ祇園ノ方迄行キ途中人形浄瑠璃ヲ見、夕方十八時三十一分ノ下関行キ急行ニ乗車　大阪ニ

テ席ヲ得ユックリ寝レル事出来シモ相不変背中痛シ

九月十一日（火）晴

途中二時間許リ延着シ下関ニテモ仲々連絡ツカズ　二時間許リ待ッテ漸ク門司行キニ乗リ亦門司デ待チ　今度ハ順調ニ行ク　折尾直方降リタ迄ハ良カッタガ直方ニテボワボワシテ居ル間ニ一列車遅レ合宿ヘ着六時過ギスッカリ疲レテシマヒ　マツカリ飲ンデ気持良ク寝ル

九月十二日（水）晴

昨夜帰リシモ本日帰ッタニシテ出テ行ク　体具合悪キ為午前中診断ヲ受ケテ来テ診断書ト共ニ欠勤届ヲ持参シテ許可受ケテ来ル　昨夜ノ宮場君ノ話デ荷物出ス振リニテ梱包ス

九月十三日（木）晴

欠勤　一日中ゴロゴロ寝テ居テモ胸苦シクテ禄ニ寝レズ　夜亦気ニ向イテ荷物ノ整理スルモ下ノ連中云草気分悪クテ中止シスツボカス楽ニナル

九月十四日（金）晴

今日モ欠勤　午前中病院ニ行キ診断別ニ異状ナキ事ナリモ体ダルクテ大イニ楽ニナル　朝方雨降ノ為亦面白クナイノデ荷物ヲ出スノヲ知ッテ居リ乍ラスッポカシテヤルイイ気味ナリ

九月十五日（土）晴

病気欠勤一日ブラブラシテ居ッタガ昼頃ブラブラ出カケテ見タガ体ガダルクテ歩クノニ骨ガ折レル　高橋君亦夜遊ビニ行ッタキリ帰ッテ来ズ

九月十六日（日）曇

朝ヨリ霧雨　ダラダラ遊ンデ居ル箭原肉ヲ持ッテ来タノデソレヲ取リ午後煮テ食ッタリ相当遊ンデ居ル　夜ハ亦雨降リ背中ガ痛クテ禄ニ寝レズ今晩モ亦団子汁毎日ノ如クナリ　相当米ガ足リナイラシイ

九月十七日（月）雨

欠勤届ハ昨日迄ナノデ今日ヨリ出勤　体悪イノヲイイ訳ニシテ入坑セズ一日事ム所ニテブラツイテ居ル　雨激シ昨年ノ今日ヲ思イ出シ懐古ノ情ヤルセナシ　大暴風雨ノ警報アリ

九月十八日（火）雨

今日モ亦昨日ニ引続キ雨降リ情況聞クニ赤池町附近ハ水ニツカッテ居ル相ナリ相当ノモノナリ　途端ニ印丈ツイテ帰リテ来テ寝テ居ル

九月十九日（水）晴

今日モ亦印丈オシテ帰ッテ来テ寝テ居ル　モウコレデ俺ハ何デモ良イドウデモナレダ　昨日等ノ台風等ニ依リ本日ハ臨時休業ダトノ事亦話ニ依レバ会館ニテ退職命令ガ我●アッタラシイ

九月二十日（木）晴

今迄ヅット俺が行ッテ居ッタ為、今日ハ高橋ガ印ツキ交替ハ、行ッタラ鉄砲玉ト同ジ也　今日ヨリ転換係員ハ全員帰ッテモ良イトノ事命令ガ出タト箭原ガ伝エニ来ル　モウ明日ヨリ出勤シナイ事ニ協議ス

九月二十一日（金）雨

午前中勝又ノ所ヘ遊ビニ行ッテ居ッタ所●ク労務ヨリノ呼出シニ依リ明日七時三十分ノ上リニテ出発スルトノ事　早速帰ッテ荷物ヲ梱包其ノ他雑仕事、三時ヨリ假出金受領四時半ヨリ労務ニテ退山式ヲ済ヒサテ帰ル段取リニナッタ途端中止ノ報ガアリガツカリスルト共ニ胸糞悪シ

九月二十二日（土）曇

面白クナイノデ高橋ニツレラレ明治迄遊ビニ行ク　松枝サンノ所デ飲ミ夜ハ合宿ニ泊リ　朝食ヲ食ッテ帰ッテ来ル　途中後藤副長ニ会フ　何セ何カラ何迄腹糞悪シ　何時帰レルヤラ

九月二十三日（日）　晴

今日モ一日ブラブラ何スルコトモナク過ス

九月二十四日（月）　晴

今日モ亦憂鬱ナリ　何スル事モナシ　煙草巻キカ

九月二十五日（火）　晴

午前中亦々ブラブラシテ居ル　昨日米穀配給券貰ヒシ故午後ヨリ買出ツイデニ吸出シ薬買ッテ来テ早速塗布、良好ナル結果ナリ　給料日下ノ連中取リニ行クモツイデニ取ツテ来ル事モナシ　何事ニツケテモ人情ナキモニハ頭ノ下ル思ヒナリ　入隊一周年記念日

九月二十六日（水）　曇

朝食後雨九時頃迄寝テ居リシモ高橋ニ起サレ靴ノ手入等シタリス　午後勝又君ノ所へ遊ビニユク　三時頃帰リニ佐貫ノ父親ノ所へ依リシモ先日ノ依頼ノ件話シニナラズアキラメテ退出　爺山口へ行クトノ事準備中ナリ皆川君ニ依頼給料受領

九月二十七日（木）　雨

夜半ヨリノ雨引続キ一日中降リ続キ陰●ナ日ナリ　午前中就寝、午後亦火ニテ粉悪戯ヲ始メ　オ蔭デ腹一パイソレデモ尚身口ニ余ッテモ眼ニハ合ラズ　夜雨ハ小雨ナレド風強シ　今日モ亦当推量許リ哉

九月二十八日（金）　晴

午前中昼寝ノ夢ヲムサボリ午後金田迄本ヲ買ヒニ行クモ閉店中ナリ　ガッカリ途中高橋連中ト会イ勝又ノ所デ丁度肉有リ皆ナデ肉鍋ニテ腹一パイ食ベテ来ル　夜芦原氏ヨリ電話アリ赤池迄出テ来テ久シ振リ映画観覧ス　輸送ニツイテ箭原氏へ扇動ス

九月二十九日（土）　晴

午前中亦第八等へ行ッタリシテ遊ンデ来ル　正午団体輸送ヲ解消シテ各個デ行クトノ事明日先発十七名決定　芦原氏一坑見学ニ来テ正午依リ大体ノ打合セシテ帰ル　俺ハモウ自暴自起何時デモ好イト覚悟●ム　夜マツカリ探シニ行キ悪イノヲ飲ンデ気分悪シ

九月三十日（日）　雨

六時三分上リニテ先発隊出発ス（赤石宮場）　午後野村氏遊ビニ来テ高橋ノ来ルヲ待ッテ居リシモ依然夕食ニナッテモ来ラズガッカリシテ帰ル皆川久シ振リニ合宿へ遊ビニ来ル　一日中昼寝ヲムサボル

十月一日（月）　晴

午前中芦原氏来カト思ッテ待ッテ居ルモ来ラズ午後モ亦同ジヤ　午後昼食後金田迄ブラブラ行キ防爆対策一冊買ッテ来ル　夜相不変退屈ナノデパンヲ膨シ試食ヲス　ボツボツ皆帰リ始ム

十月二日（火）　曇

今日モ亦幾人カ出発ス　朝芦原氏ヨリ電話有リ午前中待チシモ来ズ　石本出発ス

十月三日（水）　晴

午前中ゴロゴロシテ居リ午後昼食後早瀬氏ト二人デ柿ヲ食ヒニ行クモ見当ラズガッカリシテ帰ル

十月四日（木）　雨

雨ノ中明日帰ル積リデ各証明貰ヒニ歩ク　午後ハブラブラ明日ノ仕度ヲシタリ等シテ過ス　夜後藤副長ノ所へ行キ後最後ノ映画ヲ見テ来ル

十月五日（金）　晴

午前中各方面挨拶ニ行ク　十二時十五分ノ列車ニテ帰ル予定成功　藤原、高橋旭、栗城明ノ三人デ帰ル　赤池－門司　一円九〇　門司－下関

六〇　下関－青森　四四、五〇　計四七、〇〇

十月六日（土）～九日（火）　記入無し

十月十日（水）　＊後日記入と思われる

庶路着、寮に落着き会社に着任の挨拶に行く、出る前に固くなったトウキビがあったがうまかった　流石北海道である　夜胃が痛くてどうにもならず大内医師に往診を依頼虫垂炎と云う事で明日手術することとなったが夜半落着き誤診とわかる

十月十一日（木）

列車デ荷物ガ到着シナイノデ休暇ヲ貰ウ。休暇日

十月十二日（金）

休暇日

十月十三日（土）

休暇日

十月十四日（日）

休暇日

5. 移動時の列車時刻

藤原氏が同様に所蔵していたメモ帳に、庶路炭鉱から赤池炭鉱への移動時の列車時刻等が記録されていたので、併せて翻刻する。

［往路］二月二二日八時四一分釧路発　二三日六時三〇分長万部着　一〇時三〇分函館着　一五時三〇分函館出航　二〇時三〇分青森着　秋田屋旅館一泊　二円二〇銭宿料　二四日六時〇〇分青森発　一三時〇〇分大館着　四時間延着　一三時三五分大館発　秋田県二ツ井にて雪●ノ為停車　一泊　奈良旅館　五円〇〇銭（二食）　二五日一二時〇〇分二ツ井発　一四時一五分秋田着　東旅館一泊四円七〇銭（一食）　二六日六時一五分秋田発　一六時〇〇分新潟着　駅前ニテ小休止ス　雪ノ為三時間延着巣　二一時四〇分新津発　二七日　三時三〇分●●●●　一五時一〇分京都着　小休止　二八日二〇時四五分　京都発　二九日一二時〇〇分門司着　一二時四五分出発　一三時〇〇分　赤池着

［復路］一〇月五日一二時一五分赤池発、六日一九時〇〇分大阪着　二二時一四分大阪発貨車　七日一四時〇〇分上生着　八日一八時〇〇分青森着　九日七時〇〇分函館着　一三時一五〇分函館発　赤池～門司一円九〇銭　門司～下関六〇銭　下関～青森四四円五〇銭　青森～庶路　二三円〇〇銭

6. まとめ

［石川］

本日記は、太平洋戦争末期の炭鉱労働者（若い係員）の置かれた状況、仕事内容、坑内での状況などを知ることができる。一方であくまで個人の備忘録であり、偽ざる心情が記されている。しかしその職責からも炭鉱全体を把握することは難しい。後ろ向きの心情や勤勉とは言い難い勤務状況も読み取れる。「お国のために」という時代であったとはいえ、二十歳にして遠く筑豊炭田へ移動させられたことを踏まえれば、至極当然であったとも言える。美談あるいは極端に悲惨な状況のみが後世に残ることも多い戦時下の記録において、貴重であるといえる。

本稿を作成するにあたり、九州歴史資料館の草野真樹氏からは励まし

と有意義なコメントを戴いた。ここに記して御礼としたい。また本報告は元 太平洋炭砿の佐藤冨喜雄氏、田川市石炭・歴史博物館の福本寛氏との「急速転換」共同調査との一環である。

7. 文献

（1） 石川孝織・佐藤冨喜雄・福本寛（二〇一二）「釧路炭田における戦時下「急速転換」経験者の証言を中心に」、エネルギー史研究 第二七号

（2） 茨城県立歴史館所蔵文書「石炭統制会東部支部資料」

（3） 明治鉱業株式会社社史編纂委員会 編（一九五七）「社史」明治鉱業株式会社

（4） 赤池町史編纂委員会 編（一九七七）「赤池町史」赤池町